

広島大学 体験科学講座

～女子高校生特別コース～

第17回 ～ 生物生産学部編 ～
開催日：平成29年3月18日（土）
時間：12:30 ～ 17:00
場所：広島大学 生物生産学部

【定員】生物生産学部編：30人程度
希望のサブコースを、あらかじめ登録
していただきます。
(第1～第3希望まで)

【申込方法】申込書に必要事項を記入し、メール、
FAX又は郵便にてお申し込みください。
申込書は、ホームページから
ダウンロードしてください。

【申込締切】平成29年2月24日（金）必着

【受講可否連絡】平成29年3月2日（木）頃
(可否の連絡がない場合、お手数ですが
お問い合わせください。)

～ プログラム ～

12:30	受付開始
12:50	開会の挨拶
13:00	副研究科長の挨拶
13:10 ～ 16:30	講義・実習
13:10～	コアコース（全員）
14:50～	サブコース 1～3 (各3つのコースに分散)
16:30～	質問コーナー
17:00	解散

【お問合せ先】

広島大学 男女共同参画推進室（担当：島原・岡本）

TEL:082-424-4428・4355

E-mail: gender-eq@hiroshima-u.ac.jp

第17回 生物生産学部編 ～ 実習内容 ～

コアコース：クマノミとイソギンチャクとの共生関係について

《担当教員》
河合 幸一郎

クマノミとイソギンチャクとは共生関係にあり、クマノミの方は捕食者から身を守ってもらい、イソギンチャクの方は餌を運んでもらうと考えられています。クマノミにもイソギンチャクにもいろいろな種類があります。そこで、クマノミの種によって共生するイソギンチャクの種は違うのかどうかを水槽飼育実験で観察し、それがどのような意味を持つのかを考えてみましょう。



サブコース1：植物からDNAを抽出してみよう

《担当教員》
富永 るみ

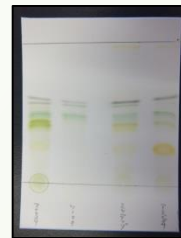
生物の研究において頻繁に用いられ、重要な操作として位置付けられているDNA抽出法を体験することができます。実際に実験を体験することによって、研究に興味を抱いて頂きたいと思います。



サブコース2：多彩・多才な海藻類を観察しよう

《担当教員》
加藤 亜記

ノリ、ワカメ、ヒジキなどの「海藻」は、日本人の食卓には欠かせない食材ですが、生き物としてはあまり知られていないのではないのでしょうか？そこで、海藻の様々な色や形、生態系での機能にも関係する光合成色素について学びましょう。



サブコース3：乳牛はどうしてたくさんのミルクを生産できるのか？

《担当教員》
沖田 美紀

1頭の乳牛が生産するミルクの量は、生物としての牛が本来の目的とする子牛への哺乳の必要量を、はるかに超えています。たくさんのミルクを生産することによって、ヒトの食料となる牛乳や乳製品（バター、チーズなど）を生産する酪農が成り立つことになります。ミルクのもとになるのは乳牛が食べる飼料です。酪農業を成り立たせるたくさんの飼料摂取と、消化・吸収がどのように行われているかを、広大農場の牛舎で牛を見ながら確かめましょう。

